



22

古典に学ぶ
竹取物語
月を思ふ心／古文の読み方 古典の仮名遣い

☑ ウォーミングアップ



読解の道しるべ

「古典」…昔の言葉で書かれ、時代を越えて多くの人々に語り継がれ、読み継がれてきた作品のこと。

【古典の仮名遣い】

古典は、現代とは異なる「歴史的仮名遣い(古典仮名遣い)」で書かれているため、音読するときには、次の点に気をつける。

・「ゐ」「ゑ」「を」→「い」「え」「お」 例 まゐる→まいる(参る)

・「ぢ」「づ」→「じ」「ず」 例 はぢ→はじ(恥)

・語頭以外の、「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」

例 あはれ→あわれ いふ→いう(言う)

・「ア段＋う・ふ」→「オ段＋う」 例 からうじて→かううじて

・「イ段＋う・ふ」→「イ段＋う」 例 うつくしう→うつくしゅう

・「エ段＋う・ふ」→「イ段＋う」 例 けふ→きょう(今日)

・他に、「くわじ」→「かじ」(火事)、「なむ」→「なん」と読むものもある。

【竹取物語について】

・『竹取物語』…現在に伝わる日本最古の物語とされる。作者は不明。

今から約千百年前の平安時代前期に作られたと考えられている。

・『源氏物語』(作者は紫式部)の中で『竹取物語』は、「物語の出で来はじめの祖」と呼ばれる。

ねらい

- ① 古文の仮名遣いやリズムに慣れ、古典の世界を感じよう。
② 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉えよう。

「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

① 古典は、現代とは異なる

で書かれているため、音読するときには読み方に注意する必要がある。

②

『は、平安時代に作られたものと考えられて

おり、現在に伝わる日本

の物語とされている。

▼ 漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

① ピアノの伴奏。

② 使者を遣わす。

③ 髪が伸びる。

④ 子供を伴って外国へ行く。

⑤ 特産品を献上する。

⑥ 司書に本の場所を尋ねる。

2 線の片仮名を漢字で書きなさい。

① 竹のツツでできた花瓶。

② 悲しいできごとをナゲク。

③ 金庫のジョウを外す。

④ 将来に希望をタクす。

⑤ つばをハキ出す。

⑥ ケムリがたちこめる。

3 次の歴史的仮名遣いの言葉の読み方を、現代の仮名遣いで、全て平仮名で書きなさい。

□① いふ

□② よろづ

□③ 使ひけり

□④ あやしう

□⑤ さうざうし

□⑥ 悪しからむ

□⑦ いとほし

□⑧ 惑へど

□⑨ けふ

□⑩ ゆゑ

4 次の——線部の読み方を、現代の仮名遣いで、全て平仮名で書きなさい。

□① 名をば、さぬきの造となむいひける。

□② それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

□③ 内外なる人の心ども、物におそはれたるやうにて、

5 次の語句の意味をあとの□から選び、書きなさい。

□① よろづ

□② いと

たいそう いろいろ 少しも 言うことには

月を思ふ心

教科書 p.116 ~ p.117

昔の人は「旧暦」といって、現在の暦とは一か月ほど後ろにずれた暦を使っていました。そのため、季節も一〜三月が春、四〜六月が夏、七〜九月が秋、十〜十二月が冬とされていました。また、各月には昔の人々の季節感や生活習慣などをもとにした呼び名（異名）がつけられていました。

1 次の月の呼び名（異名）は、それぞれ何月のことを指すかを書きなさい。

□① 如月 □② 神無月 □③ 卯月

① () ② () ③ ()

2 「中秋の名月」とは、旧暦の何月何日の夜に見える月のことを指しますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 九月十五日 イ 八月十五日

ウ 十月十日 エ 十一月三日

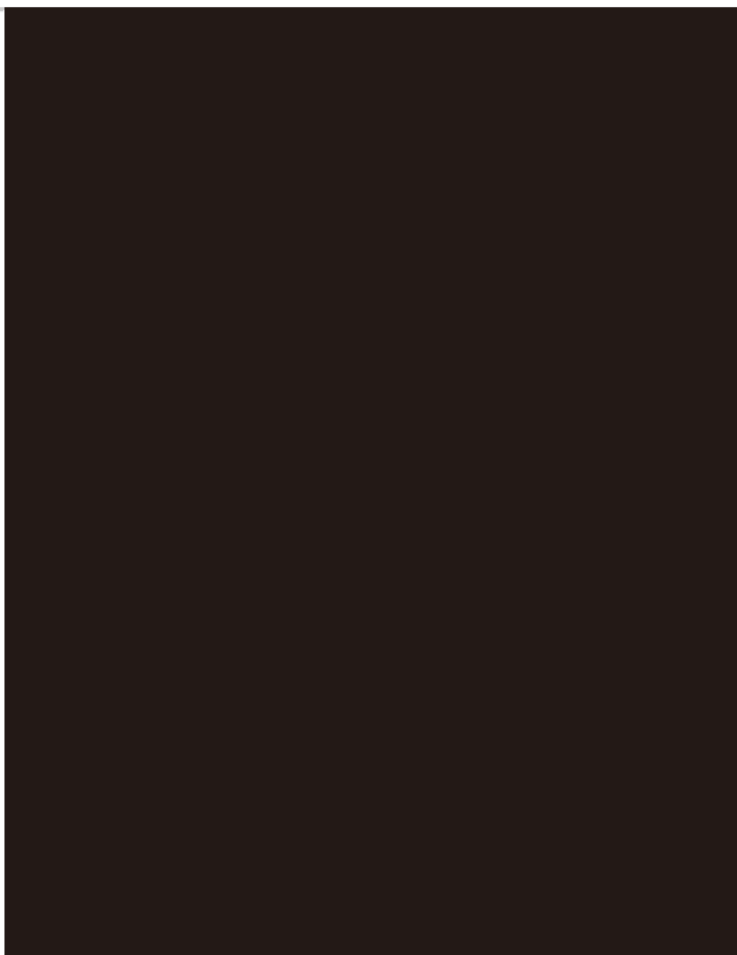
() ()



練習問題 1

1 教科書 P. 119 Q. 1
2 教科書 P. 122 Q. 15
P. 123 Q. 14

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



(1) — 線①「よろづのこと」、②「あやしがりて」、⑥「いと」、⑦「うつくしうて」は、ここではどんな意味ですか。現代語訳中から書き抜きなさい。

□ ②
□ ①

□ ⑦
□ ⑥

(2) — 線②「あやしがりて」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□ Ⅰ 誰の行為ですか。古文中から四字で書き抜きなさい。

□ Ⅱ このように思ったのはなぜですか。現代語で二十字以内で書きなさい。

□ (3) — 線③「光りたり」、⑧「あたり」の「たり」はどんなことを表していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

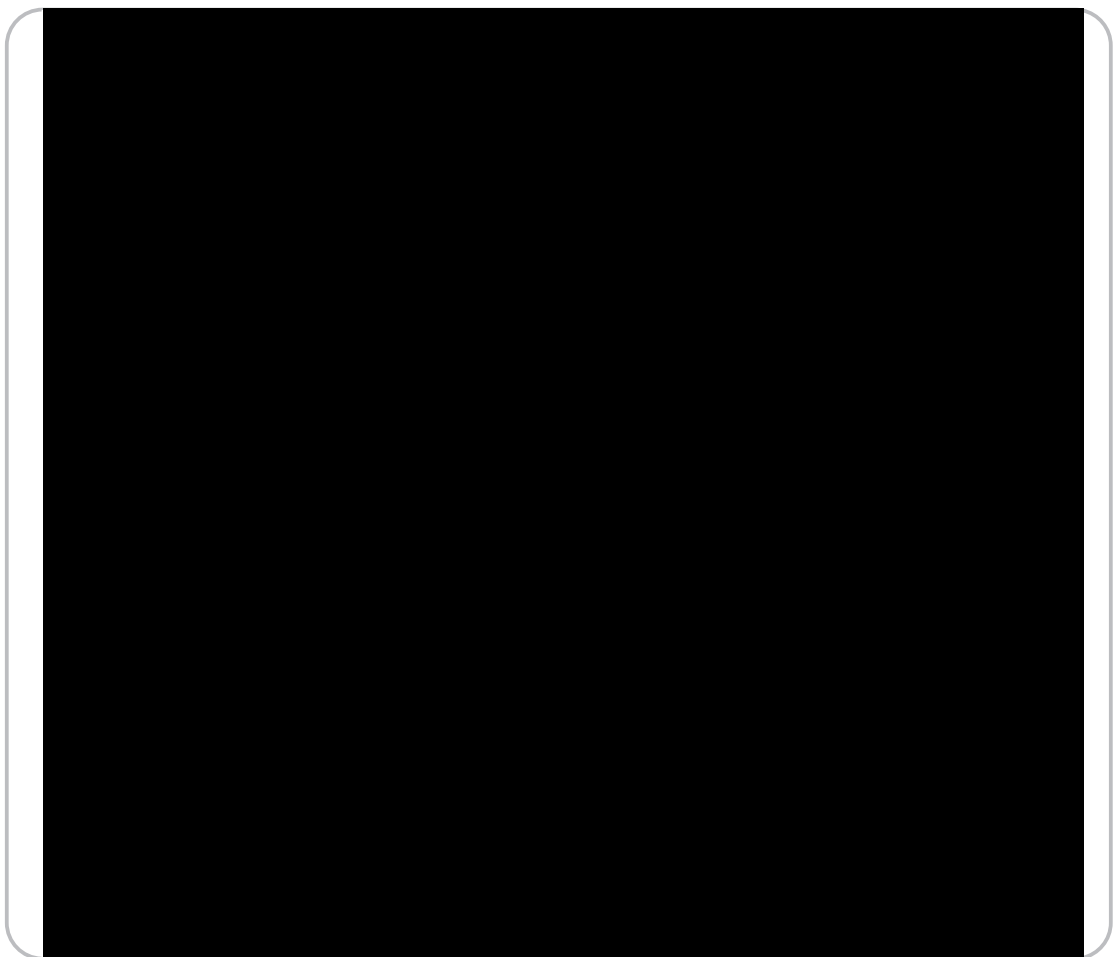
ア 動作が行われないこと。 イ 動作が続いていること。
ウ 動作がこれから行われること。 エ 動作が終わったこと。 ()

□ (4) — 線④「それ」は何を指していますか。古文中から三字で書き抜きなさい。

□ (5) — 線⑤「三寸ばかりなる人」と同じ人物を次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 竹取の翁。 イ さぬきの造。
ウ 竹の中にいる人。 エ 近寄って見た人。 ()

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



□(1) — 線①「人」とは誰のことを指していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 帝 イ 翁

ウ 天人 エ 姫

()

□(2) — 線②「五尺」は約何センチメートルですか。漢数字で書きなさい。

約

センチメートル

□(3) — 線③「内外なる人」の意味について、現代語訳の□にあてはまるように、十字以内で書きなさい。

(4) — 線④「おそはれたるやうにて」、⑤「あひ戦はむ」を現代の仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。

□④

□⑤

□(5) — 線⑥「戸も格子も自然に開き」とありますが、ここからどんなことが読み取れますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 天人たちが姫の命令によって行動していること。

イ 人間の及ばない不思議な力を天人たちがもっていること。

ウ 姫自身も地上での生活がいやになってきていたこと。

エ 姫が天人たちにだまされてあやつられていること。

()

定期テスト対策

教科書 P. 116 ~ P. 132

実施時間のめやす ↓ 20分

得点 / 100点

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) — 線①「本意なくこそおぼえはべれ」、②「見おこせたまへ」はそれぞれ誰の動作ですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
(10点×2)

ア 姫 イ 翁と姫 ウ 天人 エ 帝 オ 頭中将

□① () □② ()

□(2) — 線③「帝に手紙を書いた」とありますが、その理由として適切でないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
(10点)

ア もうすぐ月の世界にもどらなければならぬから。
イ 羽衣を着てしまったら、地上の人間の心をなくすから。
ウ 帝に仕えなければならないことが残念で悲しかったから。
エ 自分が帝に仕えられなかった事情を知ってほしかったから。

() ()

□(3) — 線④「血の涙」とありますが、この表現から読み取れる翁と姫の様子を、二十字以内で書きなさい。
(10点)

□(4) — 線⑤「いったいなんになろう」とありますが、これとほぼ同じ意味の語句を古文以外の文中から九字で書き抜きなさい。
(10点)

(5) — 線⑥「富士の山」とありますが、この名前が付けられた理由を二つ、それぞれ十五字以内で書きなさい。
(10点×2)

□(2) 次の — 線の読み仮名を平仮名で、片仮名を漢字で書きなさい。(3点×10)

□① 尋常ではない。 () □② 扉の錠前。
□③ 希望を託す。 () □④ 帝に献上する。
□⑤ えんとつの煙。 () □⑥ 竹のツツ。
□⑦ 使節をツカわす。 () □⑧ カミの毛が乾く。
□⑨ 痛みをトモナう。 () □⑩ トケツする。 ()

チャレンジしてみよう

思考・表現 『竹取物語』は千年以上前の物語ですが、今と比べてこの物語に書かれている人間の心のありようをどう思いますか。次の条件にしたがって、あなたの考えを書きなさい。
条件1 「いとほし」「かなし」という言葉を全て使って書くこと。
条件2 五十字以上、七十五字以内で書くこと。
